

研修だより

糸島市立一貴山小学校
平成26年6月30日（月）
学力アップ部

4年1組の子どもたち、吉丸先生ありがとうございました！

【単元名】 物語を読んで紹介しよう

【教材文】「一つの花」

【本時目標】

- 場面の移り変わりや登場人物の言動に着目しながら、登場人物の人柄や家族に対する優しさ、「一つの花」に込めた強い思いを読み取ろうとしている。（関心・意欲・態度）
- 交流活動を通して、自分の考えを積極的に伝えようとしたり、友達の感想を反応しながら聞いたりすることで、自分の読みとの共通点や相違点を比較しながら読み深めることができる。（読むこと）
- 気持ちや様子を表す言葉について考え、表現するときに必要な語句を活用して、自分の言葉で気持ちや振り返りをまとめることができる。（言語事項）

【本時展開】

1 前時学習を想起し、本時学習のめあてをつかむ。

○前時までの学習内容と本時場面を想起する。

・戦争時代 ・最後の別れの日

一輪のコスモスの花に込められた、お父さんの
気持ちを読み取ろう。

2 お父さんの気持ちを読み取る。

(1) ゆみ子を思うお父さんの会話や行動に線を引く。

・「一つだけのお花、大事にするんだよ～」
「にっこり笑うと何も言わずに、ゆみ子のにぎっている、一つの花を見つめながら～」

(2) 線を引いた所をもとに、一輪のコスモスに込められた
思いを考える。

・ペア交流→全体交流

きれいなお花をあげて喜ばせたい。

一つの花をずっと大切にしていね。

コスモスをこれからいっぱい増やしていね。

手立て1 今までのお父さんと違うところ

手立て2 ゆみ子とお父さんの「一つだけ」の違い

手立て3 題名と一輪のコスモスの違い

★たった一つ大切なものをこの3つ手立て
により、気づかせる

3 「見つめながら一」の後に続く、ゆみ子に伝えたかったこと
について考える。（再試行の場） コスモスカード

・命を大切にしていね。

・お母さんと仲良く、ずっと楽しく暮らしていね。

・お父さんがいなくなっておめんね。行きたくないよ。

4 本時学習のまとめを行う。

(1) 一輪の花に込められた思いをまとめる。

ゆみ子のお父さんのことを大切に思う強い気持ちである

(2) おうちの人に伝えたいことをまとめる。

・お父さんやお母さんは、子どものことをいつも大切に
思っているんだな。ありがとう。（感謝の気持ち）

・命を大切にしていこう。（命の大切さ）



【音読を進んでる様子】



【ペア交流の様子】



【コスモスカードに表現する様子】

（吉丸先生の自評）

- 本時の目標について
 - ・1つ目＝40％の達成
 - ・2つ目＝20％の達成
 - ・3つ目＝40％の達成
- 主な手立ては、主発問を「一つの花」に込めた父の思いはどんな気持ちか？にしたことと、補助発問で、「今までのお父さんと違うところ」「ゆみ子とお父さんのちがいを」「題名に立ち返る」の3つを考えさせたことである。
- 交流のさせ方を工夫していくこと
- 子どもへの問い方、タイミング等

【協議会で話し合ったこと】

- コスモスカード感動した。お父さんになりきっていた。
- 『どこからその考えになったのか』と問うことで、叙述をもとに発表できたと考える。
- 「一つの花でもいいのでは？」の問いで子どもの考えがいろいろと広がったのではないだろうか。
- 会話や行動に線を引けていない子がいた。低学年の頃からしっかり指導していききたい。
- ワークシートの工夫を全校的に考えて、系統立てていくことが大切である。
- 「紹介をする」という最後の感想に至るには、その前段で何らかの手立てが必要であった。
- おうちの人からメッセージをもらうことも大切である。前回、親から子どもへのメッセージがとても良かったので、是非、その取組も入れて欲しい。
- 指導案の意味を考え、きちんと表現することで、ねらいや内容、方法が明確になる。
- 「思考判断表現力」、「交流活動」におけるめざす姿を明確にもつことで、手立てが生まれる。

【安河内友美指導主事の主な指導・助言】

- 吉丸先生の力強さ、たくましさ、成長をととても感じた。素晴らしい。
- 国語科は、言語の力を確実に身につけさせる教科である。主題である「じっくり考える」副主題である「伝え合う活動」とは、どんな姿なのかを共有しておくことが大切である。
- 一人一人の感じ方のちがいを交流することが大切である。初発の感想は一人一人違う。違いがあるから、読みが深まっていく。多様な読みを方、解釈を交流活動に仕組むこと。
- 考えを収束するのではなく、考えを広げていくこと。答えは一つではない。『「～」です。その理由（根拠）は、〇〇という言葉からそう考えました。』のスタイルにすることで、理由や根拠の中に、場面の移り変わりや叙述を読み取っていくことになる。
- 場面の様子や移り変わり（変わったもの・変わらないもの）を目に見える形でワークシートを工夫していくことが求められる。

本日の協議、安河内指導主事の指導助言により教頭先生が次のようにまとめられました。

- ちがいを大事にすること
 - ・ちがいがあることで、読みを深めたり、ひろげたりしていくようにする。
- 変化の移り変わりに着目すること
 - ・教師の教材研究により、子どものワークシート、発問の工夫をしていく
- 根拠を大切にすること
 - ・根拠をもとめることで、その中に指導内容を含ませるようにして、子どもに必然性をもたせるようにする。
- 交流活動のイメージをもつこと
 - ・どんな交流活動にしていきたいのかを教師が具体的にイメージし、ストーリーをもつようにする。



【全体交流の様子】



【全体交流の様子】